

齶蝕学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Hayashi Y, Fukuda H, Matsuura T, Toda K, Evelyn G. Wagaiyu: Oral hygiene status among the elderly in an area with limited access to dental services in a rural Kenyan community. J Dent Oral Health 4: 1-6, 2017
2. Kanamaru J, Tsujimoto M, Yamada S, Hayashi Y: The clinical findings and manage-ments in 44 cases of cracked vital molars. J Dent Sci 12 (2017): 291-295, 2017 (IF:0.488)

A-e

1. Hayashi Y, Yamamoto K, Yanagiguchi K, Yamada S, Iohara K, Nakashima M: Pulp regeneration using fish collagen as scaffold in dog teeth. International Association for Dental Research Symposium, Abstract 3769, 2017

B 邦文

B-b

1. 金丸順策, 林 善彦, 総説 生活大臼歯の亀裂と咬合との関係, 日本歯内療法学会雑誌, 38(1): 24-30, 2017.

B-c

1. 林 善彦, 山田志津香, 柳口嘉治郎: 保存修復学専門用語集第2版(日本歯科保存学会編, 医歯薬出版, 東京, p.1-101所収) (分担執筆)
2. 辻本真規: 機種を選ぶときに何を比べるか.どんな処置から使えばよいか?(辻本恭久, 三橋純編著, これが決めて! マイクロスコープの臨床, 株式会社ヒョーロン・パブリッシャーズ, 東京, p14-19,p42-43 所収, 2017
3. 辻本真規: 桶状根への対応(歯内療法のレベルアップ&ヒント, 株式会社デンタルダイヤモンド社, 東京, p 36-38 所収, 2017
4. 林 善彦, 教科書 第5版 保存修復学 21 分担執筆 永末書店 2017.4.1
5. 林 善彦, 柳口嘉治郎, 山田志津香, 保存修復学専門用語集 第2版 日本歯科保存学会編 分担執筆 医歯薬出版, 2017

B-e

1. 山田志津香: 魚コラーゲンペプチドの骨芽細胞への分化と石灰化の促進作用. 第14回日本再生歯科医学会学術大会抄録集 20, 2017
2. 山田志津香, 山本耕平, 柳口嘉治郎, 林 善彦, 庵原耕一郎, 中島美砂子: 魚コラーゲンを足場材としたイヌにおける歯髄再生療法. 第146回日本歯科保存学会春季学術大会, 日歯保存誌 68(春季特別号) 117, 2017
3. 中園史子, 井川一成, 辻本真規, 大久保賢亮, 山田志津香, 林 善彦: 培養骨芽細胞細胞膜 Ca チャネル活性化のための MTA 溶出液の至適添加濃度の検討. 第147回日本歯科保存学会秋季学術大会, 日歯保存誌 69(秋季特別号) 28, 2017

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	1	0	1	0	4

社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
林 善彦・教授	副理事長	日本歯科保存学会
林 善彦・教授	常任理事、学会誌編集委員長	日本歯内療法学会
山田志津香 ・准教授	評議員	日本歯科保存学会
山田志津香 ・准教授	Editorial Board	Journal of Oral Science

柳口嘉治郎 ・講師	評議員・編集連絡委員	日本歯科保存学会
辻本真規・助教	評議員・渉外交渉委員会・認定審議委員会	日本顕微鏡歯科学会
辻本真規・助教	理事	九州歯内療法学会

競争的資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元	代表・分担	研究題目
林 善彦・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B) ケニア無歯科医地域での健康人口学的調査を活用した統合型口腔環境疫学データの構築
林 善彦・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的萌芽研究 石灰化に影響する微量元素ホウ素の骨芽細胞増殖・分化にはCaイオンチャネル系が関与
山田志津香 ・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 天然生理活性ペプチドのヒト歯髓由来幹細胞培養・移植による骨再生能の解析
山田志津香 ・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 自己組織化機能を有するヒト由来 iPS 細胞を用いた歯髓組織再生の具現
山田志津香 ・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) ヒト歯髓幹細胞と感染症への可能性のない魚コラーゲンを応用した歯髓再生療法の開発
井川一成・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 離島地域住民を対象とした口腔健康状態とADL・QOLとの相関性の検証
辻本真規・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 垂直歯根破折歯の総合的修復法の検討
松裏貴史・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 自己組織化機能を有するヒト由来 iPS 細胞を用いた歯髓組織再生の具現
松裏貴史・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) 体性幹細胞ホーミング因子を用いた新規根管充填法の開発
杉本浩司・助教	日本学術振興会	代表	若手研究(B) ヒト iPS 細胞を用いた低酸素培養による基礎的研究
杉本浩司・助教	日本学術振興会	分担	基盤研究(C) 自己組織化機能を有するヒト由来 iPS 細胞を用いた歯髓組織再生の具現

その他

○特筆すべき事項

- ① 再生歯科充填材(Scaffold)の研究・開発を行った
- ② 日本歯科保存学会指定研修施設である
- ③ 日本歯内療法学会認定研修施設である